

# 大学教育への取り組みに関する調査

東北学院大学教育研究所・東北学院大学FD推進委員会

## 〈調査ご協力のお願い〉

平成18年11月1日

本学教員の皆さま

東北学院大学教育研究所

拝啓

皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
教育研究所の活動への日頃のご指導ご鞭撻とご協力とに対して、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、教育研究所ではFD推進委員会のご協力を仰ぎ、アンケートというかたちで、「本学教員の大学教育への取り組みに関する調査」を実施することにいたしました。このアンケート調査の主旨は、各学部学科で実施している「学生による授業評価」から浮かび上がる様々な問題や、本学の授業において個々の教員がどのような問題に直面し、それを克服するためにまたどのような創意工夫をしているのか、等を、教員相互が正確に把握し参考にしあって、本学の有する「教育力」をさらに一層高めるために必要な手だてを全学的に考えていくことにあります。

つきましては、皆さま、職務ご多忙中の折、大変恐縮ではございますが、この主旨をご理解いただき、ぜひともご回答にご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、このアンケートで得られたご回答の集計と分析は、本年度の「教育研究所報告集第7集」に掲載する予定であります。

敬具

## 記

次頁以下の調査票にご記入のうえ、平成18年11月30日（木）まで下記のボックスにご投函下さい。

土樋キャンパス 研究機関事務課内の投函箱  
泉キャンパス 庶務掛または教育研究所（4号館3階）の投函箱  
多賀城キャンパス 庶務掛の投函箱

なおまた、このアンケートに関するお問い合わせは教育研究所（外375-1184、内184、E-mail：abro20@izcc.tohoku-gakuin.ac.jp）までお願いいたします。

問1 まず、あなたの現在の所属学科をうかがいます。あてはまる番号に○を付けてください。

01 英文学科	02 キリスト教学科	03 歴史学科	04 経済学科	05 経営学科
06 法律学科 (法科大学院も含む)	07 人間科学科	08 言語文化学科	09 情報科学科	
10 地域構想学科	11 機械知能工学科	12 電気情報工学科	13 電子工学科	14 環境建設工学科

では次に、大学での教育について、あなたのご意見をうかがいます。

問2 1～2年生向けの教養・導入科目（基礎演習など）を担当している方に伺います。これらの授業をするうえで、次のようなことはどのくらい重要でしょうか。aからiまでのそれぞれについて答えて下さい。

	かなり重要である	まあ重要である	どちらとも言えない	あまり重要ではない	全く重要でない
a. 基礎的な知識を定着させること	1	2	3	4	5
b. 学習の方法を身につけさせること	1	2	3	4	5
c. 新しい研究成果で興味を引くこと	1	2	3	4	5
d. より発展的な問題に関心を向けさせること	1	2	3	4	5
e. 学生の理解度に配慮すること	1	2	3	4	5
f. 日常の身近な話題・具体例を示すこと	1	2	3	4	5
g. 質問や課題などにより学生の参加を促すこと	1	2	3	4	5
h. きちんと授業に出席させること	1	2	3	4	5
i. 自分の人生観や学問観を語ること	1	2	3	4	5

問3 あなた自身の1～2年生向けの教養・導入科目の授業は、問2で重視した項目に照らして、うまくいっていると思いますか。

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1 うまくいっている          | 2 どちらかといえばうまくいっている |
| 3 どちらかといえばうまくいっていない | 4 うまくいっていない        |
| 5 これらの授業は担当していない    |                    |

問4 では、次に、3～4年生向けの専門科目（演習・実習・実験なども含む）を担当している方に伺います。これらの授業をするうえで、次のようなことはどのくらい重要でしょうか。aからiまでのそれぞれについて答えて下さい。

	かなり重要である	まあ重要である	どちらとも言えない	あまり重要ではない	全く重要でない
a. 基礎的な知識を定着させること	1	2	3	4	5
b. 学習の方法を身につけさせること	1	2	3	4	5
c. 新しい研究成果で興味を引くこと	1	2	3	4	5
d. より発展的な問題に関心を向けさせること	1	2	3	4	5
e. 学生の理解度に配慮すること	1	2	3	4	5
f. 日常の身近な話題・具体例を示すこと	1	2	3	4	5
g. 質問や課題などにより学生の参加を促すこと	1	2	3	4	5
h. きちんと授業に出席させること	1	2	3	4	5
i. 自分の人生観や学問観を語ること	1	2	3	4	5

問5 あなた自身の3～4年生向けの専門科目（演習・実習・実験なども含む）は、問4で重視した項目に照らして、うまくいっていると思いますか。

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1 うまくいっている          | 2 どちらかといえばうまくいっている |
| 3 どちらかといえばうまくいっていない | 4 うまくいっていない        |
| 5 これらの授業は担当していない    |                    |

問6 あなたが現在、授業で直面している学生の問題は何ですか。次の中から当てはまるものいくつにでも○をつけてください。

- |              |                |             |
|--------------|----------------|-------------|
| 1 授業に出席しないこと | 2 受講態度がよくないこと  | 3 基礎学力がないこと |
| 4 学習意欲がないこと  | 5 学習の方法を知らないこと |             |
| 6 その他（具体的に   |                |             |

問7 あなたが現在、授業で直面している教員としての問題は何ですか。次の中から当てはまるものいくつにでも○をつけてください。

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1 学生の能力・気質に見合う授業ができないこと | 2 学習意欲を高めるような工夫が難しいこと |
| 3 授業準備のための時間が十分にとれないこと  | 4 学生とのコミュニケーションが難しいこと |
| 5 その他（具体的に              |                       |

問8 以下のa～gの各項目について、あなたの授業がどれくらいよくあてはまるか、○をつけて下さい。

	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
a. 授業内容には毎年、新しい成果を取り入れている	1	2	3	4	5
b. 教科書を指定し、教科書中心に授業をすすめることが多い	1	2	3	4	5
c. 授業に関係のある参考文献や資料をなるべく紹介する	1	2	3	4	5
d. 遅刻や授業中の私語は注意するなど、授業の雰囲気づくりに配慮する	1	2	3	4	5
e. 自分の授業内容と専門の研究内容は関連がない	1	2	3	4	5
f. 授業の仕方について同僚と意見交換をする	1	2	3	4	5
g. 授業改善のための研修やセミナーに参加したことがある	1	2	3	4	5

問9 では、次の中から受けてみたい授業改善の研修・セミナーがありましたら、当てはまるものすべてに○を付けてください。

- |               |
|---------------|
| 1 実際の講義の進め方   |
| 2 学生指導の方法     |
| 3 教材の準備の仕方    |
| 4 視聴・情報機器の利用法 |
| 5 その他（具体的に    |

問10 次に示す大学教育への取り組みに対して、あなたはどのように思いますか。

	そう思う	どちらか と言え ばそう 思う	どちらか と言え ばそう は思わ ない	そうは 思わな い
a. カリキュラムの構成が活かされるように、個々の授業内容の連携を緊密にすべきだ	1	2	3	4
b. 多人数の授業よりも少人数教育をもっと重視すべきだ	1	2	3	4
c. 1年生向けの導入科目（基礎演習など）をもっと充実すべきだ	1	2	3	4
d. 教員同士の授業評価を積極的に進めるべきだ	1	2	3	4
e. 「学生による授業評価」の結果は、もっと授業改善に反映させるべきだ	1	2	3	4

問11 あなたは、できれば研究と教育のどちらに力をいれたいと思いますか。

1 どちらかといえば研究      2 研究・教育に同じくらい      3 どちらかといえば教育

最後にあなたご自身のことをいくつかうかがいます。

問12 あなたの年齢はどれにあたりますか。

1 20歳台      2 30歳台      3 40歳台      4 50歳台      5 60歳台以上

問13 これまでの大学での教授歴（助手も含む）はどのくらいですか。

1 5年以下      2 6～10年      3 11年～20年      4 21年～30年      5 31年以上

問14 東北学院大学での勤務年数は通算、どのくらいですか。

1 5年以下      2 6～10年      3 11年～20年      4 21年～30年      5 31年以上

お忙しいところ、面倒な質問にお答えくださりまして、ありがとうございました。  
お手数ですが、最後に記入もれなどが無いかなど、もう一度、確認をお願いします。

☆

平成18年11月30日（木）までに下記のボックスにご投函下さい。

土樋キャンパス      研究機関事務課内の投函箱

泉キャンパス      庶務掛または教育研究所（4号館3階）の投函箱

多賀城キャンパス      庶務掛の投函